

社内報

第296号

2025.6.20発行



本 社	TEL 072-967-6671 FAX 072-967-7532
東大阪物流センター	TEL 072-967-7361 FAX 072-967-7152
泉大津物流センター	TEL 0725-23-7791 FAX 0725-23-7792
桶 川 営 業 所	TEL 048-786-5831 FAX 048-786-5832
ロ ジ ス 東 京	TEL 048-598-5190 FAX 048-593-2120
埼玉物流センター	TEL 048-984-6131 FAX 048-984-6132
行田物流センター	TEL 048-577-4131 FAX 048-577-4132
伊賀物流センター	TEL 0595-45-9511 FAX 0595-45-9512
福岡物流センター	TEL 092-957-4011 FAX 092-957-4012

西日本では例年よりもかなり早く梅雨も明け、本格的な夏が始まりました。気温・湿度ともに一気に上がる時期となり、体調管理には一層の注意が必要です。特に倉庫内や車両での作業は熱がこもりやすく、熱中症のリスクも高まります。まずは何よりも、皆さま自身の体調管理を最優先にしてください。

- ・ 倉庫内では こまめな水分・塩分補給、定期的な休憩 を徹底しましょう。
- ・ ドライバーの皆さまも、エアコンは遠慮なく使用し、体調に異変を感じた際は すぐに休憩・報告 をお願いします。
- ・ また、周囲の体調変化にも気を配り、一声かけ合う気遣いをお願いします。

なお、最近では日本郵政の点呼未実施が報道され、大きな問題となりました。

今一度、**「点呼の確実な実施」や「健康状態のチェック」**など、基本の確認を徹底しましょう。

引き続き、安全・健康第一の運行・作業を心がけてまいりましょう。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

エコドライブ実践のお願い

車格	台数	平均燃費実績
1t	7	6.8km/l
2t	5	7.4km/l
3t	4	6.6km/l
4t	12	5.9km/l
8t	2	5.9km/l
15t	1	2.7km/l

エコドライブ実践ポイント

- ・ 急発進・急ブレーキの回避
- ・ アイドリングストップの徹底
- ・ 適切なギアチェンジ
- ・ エアコンの効率的な使用
- ・ タイヤの空気圧管理
- ・ 不要な荷物の整理
- ・ 定期的な車両点検
- ・ こまめな休憩と水分補給

拠点別無事故日数累計 (2025.6.20付)

福岡	泉大津	行田	東大阪
1,592日	55日	610日	323日
埼玉	伊賀		
1,014日	316日		

本社よりお知らせ

自動車・二輪で通勤される方へのお知らせ

昨年7月に実施した車検証・自賠責・任意保険のチェックについて、当時ご提出いただいた書類に記載されている有効期限が、その後の経過により切れている方がいらっしゃいます。再提出が必要な方についてはセンター長へお知らせしておりますので、該当する方は速やかに最新の書類を再提出していただきますようお願いいたします。

また、今後は車検の実施や保険の更新後、速やかに書類を提出していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

ワールド運輸株式会社 SDGs への取り組み

8 働きがいも経済成長も

8 番目の「働きがいも経済成長も」では、創業50年を超えて更なる成長を目指し、提案型総合物流企業として継続成長しようとしています。働く全ての社員さんの、働き甲斐、自己成長、就業と収入の安定を図るべく、経営課題の解決を図ります。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

9 番目の「産業と技術革新の基盤をつくらう」では、必要なモノを必要とする人・所へ適正に安全に責任をもって笑顔で真心こめてお届けする事で、日本経済の物流インフラ基盤を担っています。

11 住み続けられるまちづくりを

11 番目の「住み続けられるまちづくりを」では、都市を包括的、安全、強く持続可能にするために、物流業者として車両や設備を大切に扱い、省エネから始まる持続可能な社会の実現に努めています。

12 つくる責任つかう責任

12 番目の「つくる責任つかう責任」では持続可能な消費と生産のパターンを確保する為に、将来の経済・環境・社会のコストを低下させて経済的競争力をたかめるべく、物流業者としての責任を自覚し、11 番目と重複しますが社会のインフラにおける重要なポジションで企業活動を継続して行っています。

13 気候変動に具体的な対策を

13 番目の「気候変動に具体的な対策を」では燃料消費率の効率化や車両・設備のメンテナンスをしっかりと行う事と、モノを大切に扱い、長寿命化に取り組む事で CO2 削減に取り組んでいます。

17 パートナリシップで目標を達成しよう

17 番目の「パートナーシップで目標を達成しよう」では、取引先様との省エネや生産効率向上に際しての協働はもちろん、社員の皆さんとの意識を共有し、目標実現に向けてこれに取り組んでいます。